



## 平成27年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年1月30日

上場取引所 東

上場会社名 日本ケミファ株式会社  
 コード番号 4539 URL <http://www.chemiphar.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山口 一城  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員 (氏名) 安本 昌秀

TEL 03-3863-1211

四半期報告書提出予定日 平成27年2月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成27年3月期第3四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第3四半期	27,125	11.6	2,880	0.2	2,823	1.5	1,791	3.0
26年3月期第3四半期	24,297	△2.4	2,874	△16.0	2,782	△16.1	1,738	△11.6

(注)包括利益 27年3月期第3四半期 1,937百万円 (△1.3%) 26年3月期第3四半期 1,963百万円 (△1.7%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第3四半期	44.74	44.71
26年3月期第3四半期	42.39	42.36

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
27年3月期第3四半期	42,273	15,002	35.5	374.61
26年3月期	40,106	13,501	33.6	336.97

(参考)自己資本 27年3月期第3四半期 14,995百万円 26年3月期 13,490百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	0.00	—	10.00	10.00
27年3月期	—	0.00	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	10.00	10.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	35,300	10.7	2,600	△21.9	2,450	△23.6	1,500	△20.5	36.72

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、【添付資料】P.3「会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年3月期3Q	42,614,205 株	26年3月期	42,614,205 株
② 期末自己株式数	27年3月期3Q	2,584,702 株	26年3月期	2,578,212 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	27年3月期3Q	40,032,719 株	26年3月期3Q	41,016,009 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

なお、上記業績予想に関する事項は、【添付資料】P.2「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法)

四半期決算補足説明資料は、四半期決算短信開示後速やかに当社ホームページに掲載いたします。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する情報 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記).....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記).....	8
(セグメント情報等).....	8
(4) 重要な後発事象 .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、消費税率引き上げ後の消費落ち込みの影響が尾を引く中で、輸出の増加や雇用・所得環境の改善が進むなど、景気持ち直しの動きも見えてきています。

ジェネリック医薬品業界におきましては、平成25年4月に厚生労働省から「後発医薬品のさらなる使用促進のためのロードマップ」が公表され、ジェネリック医薬品の数量シェアを平成30年3月までに60%以上とする目標とその実現に向けた取り組みが示されたことによって、ジェネリック医薬品市場は拡大しており、数量ベースでは更なる成長が予想されます。その一方で、昨年4月の薬価基準の改定は初収載薬価の引き下げや価格帯集約など、これまでの改定に比べて厳しい内容であったため、各製薬メーカーには今後一層の効率化、経営努力が求められています。

このような環境下で、当社グループは、「信頼できるジェネリック医薬品」の普及に貢献するべく、新薬メーカーとして培ってきた「安心と安全」への取り組みをベースとして、ジェネリック医薬品の高品質維持と安定供給確保、並びに、生産性及び効率性の向上への取り組みを、より一層推し進めてまいりました。

その一環として、昨年12月には、ベトナムにおいて子会社日本薬品工業株式会社と現地製薬企業による合弁会社を設立することといたしました。当初は日本市場向けの医薬品の製造を主事業とし、将来的にはベトナム国内や他のアジア各国への販路拡大を進めていく予定です。(詳細については、平成26年12月4日公表の「子会社によるベトナムにおける合弁会社(孫会社)設立に関するお知らせ」をご参照ください)

## (医薬品事業)

医薬品事業の業績はジェネリック医薬品の売上高が前年同期比15.0%の増収となったことにより、医薬品事業全体の売上高は26,465百万円(前年同期比12.1%増)、営業利益は2,851百万円(前年同期比0.5%減)となりました。

## (その他)

主に受託試験事業、ヘルスケア事業及び不動産賃貸事業である「その他」の事業の業績は、売上高は引き続き市場競争の激化により660百万円(前年同期比5.5%減)となりましたが、経費の効率化などにより営業利益は29百万円(前年同期比217.0%増)となりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は27,125百万円(前年同期比11.6%増)、営業利益は2,880百万円(前年同期比0.2%増)、経常利益は2,823百万円(前年同期比1.5%増)、四半期純利益は1,791百万円(前年同期比3.0%増)となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## ①資産、負債及び純資産の状況

## 1)資産

流動資産は前連結会計年度末に比べて1,672百万円増加し、25,473百万円となりました。これは、主に受取手形及び売掛金の増加によるものです。

固定資産は前連結会計年度末に比べて496百万円増加し、16,798百万円となりました。これは、主に機械装置の取得によるものです。

この結果、総資産は前連結会計年度末に比べて2,167百万円増加し、42,273百万円となりました。

## 2)負債

流動負債は前連結会計年度末に比べて433百万円減少し、14,575百万円となりました。これは、主に支払手形及び買掛金の減少によるものです。

固定負債は前連結会計年度末に比べて1,098百万円増加し、12,695百万円となりました。これは、主に長期借入金の増加によるものです。

この結果、負債合計は前連結会計年度末に比べて665百万円増加し、27,270百万円となりました。

## 3)純資産

純資産合計は前連結会計年度末に比べて1,501百万円増加し、15,002百万円となりました。これは、主に四半期純利益の計上により利益剰余金が1,361百万円増加したことによるものです。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

現時点におきましては、平成26年5月9日に公表した業績予想を変更していません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する情報

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動  
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用  
該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
(退職給付に関する会計基準等の適用)

「退職給付に関する会計基準」(企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下、「退職給付会計基準」という。)及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日。以下、「退職給付適用指針」という。)を退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、退職給付見込額の期間帰属方法を期間定額基準から給付算定式基準へ変更するとともに、割引率の算定方法を変更いたしました。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取扱いに従って、当第3四半期連結累計期間の期首において、退職給付債務及び勤務費用の計算方法の変更に伴う影響額を利益剰余金に加減しております。

この結果、当第3四半期連結累計期間の期首の退職給付に係る負債が39百万円増加し、利益剰余金が25百万円減少しております。また、当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ11百万円増加しております。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
<b>資産の部</b>		
<b>流動資産</b>		
現金及び預金	5,667	5,132
受取手形及び売掛金	11,722	13,976
商品及び製品	3,775	3,559
仕掛品	659	650
原材料及び貯蔵品	973	1,232
繰延税金資産	712	573
その他	290	348
貸倒引当金	△1	△1
<b>流動資産合計</b>	<b>23,800</b>	<b>25,473</b>
<b>固定資産</b>		
<b>有形固定資産</b>		
建物及び構築物(純額)	5,067	4,877
機械装置及び運搬具(純額)	1,364	2,241
工具、器具及び備品(純額)	227	241
土地	5,460	5,460
リース資産(純額)	388	354
建設仮勘定	221	50
<b>有形固定資産合計</b>	<b>12,729</b>	<b>13,227</b>
<b>無形固定資産</b>		
のれん	172	42
リース資産	50	36
ソフトウェア	26	19
電話加入権	20	20
<b>無形固定資産合計</b>	<b>269</b>	<b>118</b>
<b>投資その他の資産</b>		
投資有価証券	1,967	2,202
長期貸付金	6	4
長期前払費用	34	27
敷金及び保証金	97	96
繰延税金資産	230	138
その他	1,027	1,041
貸倒引当金	△60	△57
<b>投資その他の資産合計</b>	<b>3,303</b>	<b>3,453</b>
<b>固定資産合計</b>	<b>16,302</b>	<b>16,798</b>
<b>繰延資産</b>		
社債発行費	3	1
<b>繰延資産合計</b>	<b>3</b>	<b>1</b>
<b>資産合計</b>	<b>40,106</b>	<b>42,273</b>

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,834	6,144
短期借入金	580	830
1年内償還予定の社債	270	145
1年内返済予定の長期借入金	2,648	2,563
リース債務	142	143
未払金	362	120
未払法人税等	617	467
未払消費税等	17	461
未払費用	2,352	2,208
預り金	65	214
返品調整引当金	5	4
販売促進引当金	340	495
その他	771	776
流動負債合計	15,008	14,575
固定負債		
社債	95	-
長期借入金	8,504	9,787
リース債務	325	275
役員退職慰労引当金	342	366
退職給付に係る負債	959	897
受入敷金保証金	9	9
再評価に係る繰延税金負債	1,360	1,360
固定負債合計	11,596	12,695
負債合計	26,604	27,270
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	4,304	4,304
資本剰余金	1,298	1,298
利益剰余金	6,056	7,417
自己株式	△990	△994
株主資本合計	10,668	12,026
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	507	656
土地再評価差額金	2,400	2,400
退職給付に係る調整累計額	△86	△88
その他の包括利益累計額合計	2,822	2,968
新株予約権	10	7
純資産合計	13,501	15,002
負債純資産合計	40,106	42,273

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)
売上高	24,297	27,125
売上原価	11,310	14,066
売上総利益	12,986	13,058
返品調整引当金繰入額	1	-
返品調整引当金戻入額	-	0
差引売上総利益	12,985	13,059
販売費及び一般管理費	10,110	10,178
営業利益	2,874	2,880
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	36	43
固定資産賃貸料	12	12
持分法による投資利益	8	10
保険配当金	-	3
その他	19	29
営業外収益合計	77	99
営業外費用		
支払利息	130	121
手形売却損	8	8
支払手数料	11	8
その他	18	18
営業外費用合計	169	157
経常利益	2,782	2,823
特別利益		
新株予約権戻入益	-	4
特別利益合計	-	4
特別損失		
固定資産除却損	3	-
特別損失合計	3	-
税金等調整前四半期純利益	2,779	2,828
法人税、住民税及び事業税	913	866
法人税等調整額	127	170
法人税等合計	1,040	1,037
少数株主損益調整前四半期純利益	1,738	1,791
四半期純利益	1,738	1,791

四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,738	1,791
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	224	148
退職給付に係る調整額	-	△1
その他の包括利益合計	224	146
四半期包括利益	1,963	1,937
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,963	1,937
少数株主に係る四半期包括利益	-	-

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

当第3四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年12月31日)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第3四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年12月31日)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

前第3四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年12月31日)

1) 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント	その他 (注)1	合計	調整額	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	医薬品事業				
売上高					
外部顧客に対する売上高	23,599	698	24,297	—	24,297
セグメント間の内部売上高又は振替高	19	75	94	△ 94	—
計	23,618	774	24,392	△ 94	24,297
セグメント利益	2,865	9	2,874	—	2,874

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、安全性試験の受託等、ヘルスケア事業及び不動産賃貸事業を含んでおります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第3四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年12月31日)

1) 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント	その他 (注)1	合計	調整額	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	医薬品事業				
売上高					
外部顧客に対する売上高	26,465	660	27,125	—	27,125
セグメント間の内部売上高又は振替高	7	13	20	△ 20	—
計	26,472	673	27,146	△ 20	27,125
セグメント利益	2,851	29	2,880	—	2,880

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、安全性試験の受託等、ヘルスケア事業及び不動産賃貸事業を含んでおります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## (4) 重要な後発事象

当第3四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年12月31日)

該当事項はありません。